

KVK 壁付サーモスタット式シャワー 取扱説明書1

KF3000(W)T(2/3)(ES)TK 〈各仕様共通〉

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF3000T2TK仕様のイラストで説明しています。

安全上のご注意




- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。




 この絵表示は、してはいいけない「禁止」の内容です	 この絵表示は、「分解禁止」の内容です	 この絵表示は、「接触禁止」の内容です	 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です
---	--	--	--




やけど、漏水をした場合の処置







やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。





漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>85℃より高温</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p> 禁止</p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
---	---	---

<p>警告</p> <p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p> 分解禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワーには60℃以上のお湯を通水させないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>60℃以上</p> <p>通水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	---	--

<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>湯側ソケットは熱くなっているため直接触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>あつい</p> <p>給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには吐水口および水栓本体は高温のため直接触れないでください。</p> <p> 接触禁止</p> <p>あつい</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
--	--	--

<p>湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうかを確かめてから吐水してください。</p> <p> 適温かを確認</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる可能性があります。</p>	<p>お使いになる前に吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯を使用してください。</p> <p> 確認</p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめてから吐水してください。</p> <p> 確かめる</p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>
<p>警告</p> <p>高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流してください。</p> <p> 熱湯 → 水</p> <p>次に使用する時、水栓内に残っている高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻してください。</p> <p> 40</p> <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがあるため、ハンドルはゆっくり回してください。</p> <p> ゆっくり</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>

<p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>ぐいっ</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</p> <p> 禁止</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>注意</p> <p>めっき部品はぶつかけたり落としたりしないでください。鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。</p>	<p>シャワーホースは無理に引っばったり折り曲げたりしないでください。</p> <p> 禁止</p> <p>ホースの破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

注意

<p>樹脂製エルポには金属製シャワーホースナットのシャワーホースには一時止水機能付きシャワーを取り付けしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>樹脂製エルポのねじ部が破損し、シャワーホースが取り付けできなくなるおそれがあります。</p>	<p>樹脂製のシャワーエルポおよび樹脂製ホースナットのシャワーホースには一時止水機能付きシャワーを取り付けしないでください。</p> <p>禁止</p> <p>一時止水機能付きシャワー</p> <p>シャワーエルポおよびホースナットが樹脂製のため、破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>エルポにホースを取り付ける際は斜めに取り付けず、まっすぐ取り付けてください。</p> <p>!</p> <p>エルポとホースナットをまっすぐにする</p> <p>エルポのねじ部がつぶれ、シャワーホースがエルポに取り付けできなくなる場合があります。</p>
<p>シャワーヘッドは髪から離してお使いください。</p> <p>!</p> <p>髪に付けて使用するとシャワーヘッドのすき間に髪が絡まるおそれがあります。</p>	<p>ヘッドをホースに取り付ける際はホースナットを回して、まっすぐ取り付けてください。</p> <p>!</p> <p>ホースナットを回してまっすぐ</p> <p>ヘッドのねじ部は樹脂製のため、斜めに取り付けると、ねじがつぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。</p>	<p>吐水切換ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがあるため、ゆっくり操作してください。</p> <p>!</p> <p>ゆっくり</p> <p>急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>ワンストップシャワー仕様の場合 使用後は、必ずシャワー止ボタンを出た状態にして、水栓金具のハンドルで止水してください。</p> <p>!</p> <p>1. ボタンが出ています 2. ハンドルで止水</p> <p>水栓金具本体のハンドルで止水しないと器具が破損するおそれがあります。</p>	<p>ワンストップシャワー仕様の場合 凍結が予想される際は、シャワー止ボタンを出た状態にして、水栓金具の凍結予防の手順に従い水抜きをしてください。</p> <p>!</p> <p>ボタンが出ている</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>!</p> <p>パリッ</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、0574-55-1191をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料・・・診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
	部品代・・・修理に使用した部品代
	出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。
☎ 0570-099-552

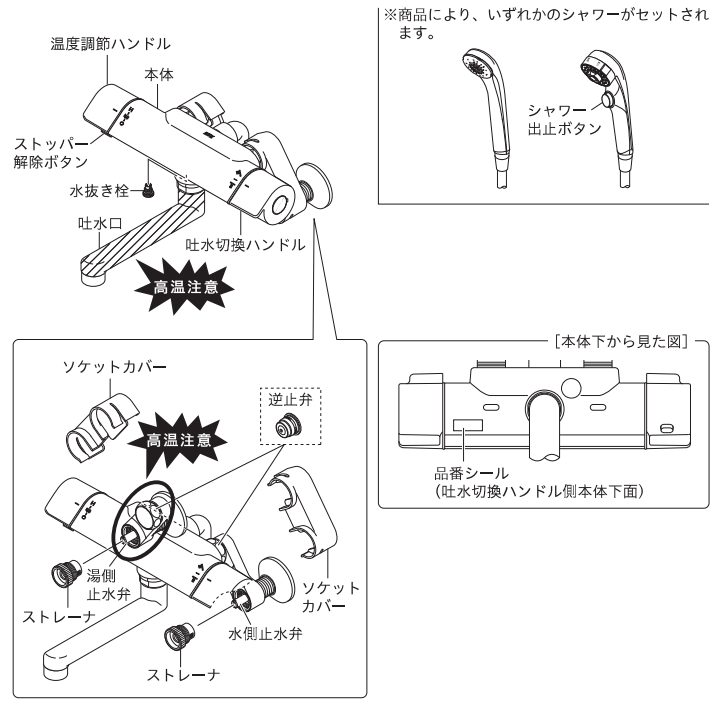
株式会社KVK
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

ご使用の前に

給湯器の使用上のご注意

- ・給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。必要とする吐水温度[適温約40℃]が得られないことがあります。
- ・吐水切換ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- ・吐水切換ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐水切換ハンドルで調節を行ってください)

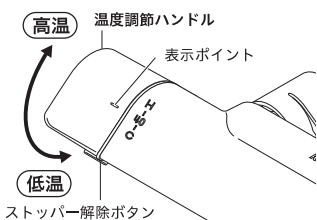
各部の名称



ご使用方法

温度調節方法

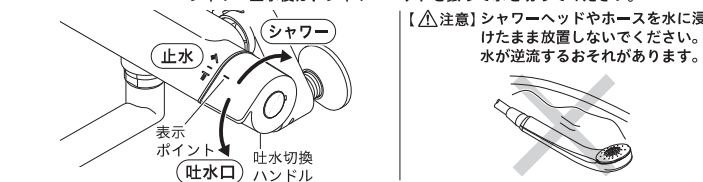
温度調節ハンドルの表示ポイントを温調表示に合わせます。
目盛「40」を目安にしてください。
高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度：約42～45℃) それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながらかけてください。
使用後は目盛「40」以下に戻してください。
※目盛は、温度表示ではありません。
目盛は、温度調節の目安としてください。



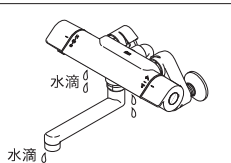
吐水切換方法

- 吐水口** 吐水切換ハンドルを下へ回す(⌵の方向)と吐水口から湯水が出ます。下いっぱいまで最大流量になります。
- シャワー** 吐水切換ハンドルを上へ回す(⌴の方向)とシャワーから湯水が出ます。上いっぱいまで最大流量になります。
- 止水** ハンドルの表示ポイントを「-」に合わせると止水します。

- 【△警告】湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、手で適温かどうか確かめてから使用してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 【△注意】吐水切換ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【通水音大きい場合】吐水切換ハンドルを使用する際に通水音大きい場合は、湯水の止水弁をしぼって吐水切換ハンドルを全開にして使用してください。(流量の調節方法参照)
- 【止水直後の水滴について】シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



※この水栓は、カバーに水抜き穴があるため、水栓使用中および使用後に本体から水滴が落ちることがありますが、これはカバー内に溜まった水が排出されるものであり、製品の故障ではありません。
※水栓使用後、吐水口から水滴が落ちることがありますが、これは吐水口内に溜まった水が排出されるものであり、製品の故障ではありません。



日常のお手入れ・保守 1

お手入れ方法

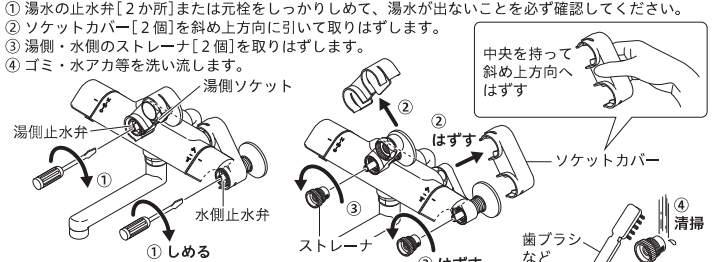
- 【軽い汚れの場合】汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。
 - 【ひどい汚れの場合】中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭き取ります。
 - 【使ってはいけないもの】水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。
- 【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字や表示等をこすらないようにしてください。

ストレーナの清掃方法

ソケットと吐水口のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならなかったり、きれいに流れなくなったりする場合がありますので、定期的な清掃してください。

ソケットのストレーナ清掃

- 【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁または元栓を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。



清掃後は、上記と逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを吐水口側にしてください。

吐水口のストレーナの清掃

- ① 吐水口の整流器をはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
 - ② ストレーナをブラシで水洗いします。
- 清掃後は、はずした逆の手順で組み込んでください。

